

欲しがりません勝つまでは？

我慢して喜ぶのは経営者だけ

欲しがりません勝つまでは「みなさんも一度は聞いたことがあるのではないだろうか。この言葉は戦時中、大政翼賛会・新聞社が募集した「国民決意の標語」の入選作です。平成も終わる現在では多くの方が経験していない戦時中の考え方であり、当時は、明るい未来の為に、現在を犠牲にするという姿勢をとることが「美德」とされてきました。しかし、**実際のところ、現在を犠牲にすること、明るい未来を実現することに、直接的な因果関係は存在しません。**我慢という形で現在を犠牲にすることを無条件に正しいと思込んでしまった結果、未来はどうなるのでしょうか？ 当時を振り返れば火を見るより明らかです。

JR九州グループで働くみなさんは「欲しがりません・・・」という考えになっていませんか？会社が潰れてはいけない・今年には災害があったから・去年より利益が少ないから・等々色々言う方がいます。明るい未来は「我慢」だけでは訪れません。「我慢」を美德という考え方が過労死等の不幸な結果を招く一因となっています。**労働者が要求しなければ、労基法等に抵触しない限り、経営者には労働環境を改善する必要性が基本的にはありません。**

2017年度経常利益522億円

今年の春闘での賃上げについてみなさんはどの様に感じましたか？JR九州は社員300円・嘱託再雇用社員200円のベースアップでした。5年連続のベースアップではありましたが、上場後も順調に利益も上がっており、政府・経団連等の賃上げ要請や昨今の人手不足対策等、他社の賃上げ発表もあり、期待していた社員も多かったのではないかと思います。低額回答という結果となりました。**我々はいままで「我慢」すればいいのでしょうか？**

よく考えて下さい。株式上場前、会社側は社員一丸となって上場に向け取り組むと言っていました。しかし、多くの困難を乗り越え株式上場をはたして以降、多くの社員が期待していた賃金の上昇はなされていません。事業や設備への大型投資は続いています。社員への投資は後回しになったままです。**儲けることばかりを「美德」にせず、働く人々が幸せを感じることを「美德」とすべき時期にきていると思えますが・・・**

世間では大幅な賃金引き上げが話題になるけど、我が社は今年も話題には入れなかったね 来年は・・・？



賃金面でリーディングカンパニーを目指して



若いカ

第115号

2018年 4月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515